



2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月14日

上場会社名 株式会社 NEW ART HOLDINGS
コード番号 7638 URL <https://www.newart-ir.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 白石 幸生
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 神尾 常夫
四半期報告書提出予定日 2023年8月14日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-3567-8098

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	4,827	10.3	490	19.1	568	28.3	261	47.5
2023年3月期第1四半期	5,382	34.1	606	138.3	792	178.4	496	858.3

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 160百万円 (56.3%) 2023年3月期第1四半期 368百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	16.99	
2023年3月期第1四半期	31.17	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	21,435	8,019	36.6
2023年3月期	22,394	9,398	41.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 7,848百万円 2023年3月期 9,232百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		100.00	100.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)		0.00		100.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,000	7.2	1,600	14.4	1,600	0.0	990	7.0	64.42
通期	23,700	10.4	4,000	21.1	4,000	18.7	2,000	15.8	130.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	16,626,375 株	2023年3月期	16,626,375 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	1,258,999 株	2023年3月期	1,258,395 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	15,367,820 株	2023年3月期1Q	15,943,035 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	4
(3) 今後の見通し	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 当期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年6月30日)は、基幹事業であるジュエリー・アート・オークション事業において、大口の絵画取引がなかったことが要因でグループ売上高は前期を下回りましたが、ブライダルジュエリー事業単体では前期を上回る売上高、利益を計上し業績を牽引いたしました。利益に関してはシンガポール事業への先行投資による費用増と営業外収益(為替差益)の影響で前期を下回りましたが、基幹事業における利益創出は堅実なものとなっております。

2024年3月期は売上高重視の経営から経常利益重視の経営に変革し、引き続き主力であるジュエリー・アート・オークション事業の国内外における堅実な成長展開を推進すると共に、企業パートナー連合を組成して各事業を補完、強化する友好的なM&Aを年度内にまとめ、通期として大きな利益の拡大をしております。なお、不採算部門に関しては業績が回復しない場合は順次整理していく事も視野に検討しております。

当第1四半期連結累計期間におけるグループの業績は、売上高48億27百万円(前年同期比10.3%減)、営業利益4億90百万円(前年同期比19.1%減)、経常利益5億68百万円(前年同期比28.3%減)、親会社株主に帰属する当期純利益2億61百万円(前年同期比47.5%減)となりました。

当社は、2023年6月30日付で取締役社長に就任した白石哲也をNEW ARTグループの後継者候補として創業者白石幸生と共に2024年3月期も事業を大きく前進させてまいります。

「みんなの夢の企業グループ NEW ARTはアートの持つすべての力であなたを美と健康と幸せに導きます」という企業理念のもとに、2024年3月期の期末配当は2023年7月18日に発表させていただきましたとおり、1株につき70円の普通配当に感謝特別配当30円を加算した1株につき100円を予定しております。

各セグメントの業績は、次のとおりであります

①ジュエリー・アート・オークション事業

当第1四半期連結累計期間におけるジュエリー・アート・オークション事業の売上高は43億79百万円(前年同期比8.2%減)、セグメント利益は8億43百万円(前年同期比3.7%増)となりました。

ジュエリー事業においては、ダイヤモンドの仕入高アップや国内外ブランドとの競争がある中順調に推移致しました。前連結会計年度より継続して実施している国内新規出店に関しては、4月14日に宮城県仙台市への2拠点目となる銀座ダイヤモンドシライシ/エクセルコダイヤモンド仙台パルコ2店をオープン、5月26日には沖縄県で初出店となる銀座ダイヤモンドシライシ/エクセルコダイヤモンド沖縄パルコシティ店をオープンいたしました。また、第2四半期以降も9月15日に島根県で初出店となる銀座ダイヤモンドシライシ/エクセルコダイヤモンド松江店、10月13日には広島県で2拠点目となる銀座ダイヤモンドシライシ/エクセルコダイヤモンド福山店のオープンを予定しております。2023年7月13日に発表した中期経営計画のとおり国内未出店地区に年間5店舗、3年間で15店舗、また同時に台湾、香港に年間1～2店舗の出店を予定しております。グループの基幹事業として経済情勢をみながら積極的な成長展開と製造部門の強化を行い、利益創出をしております。

オークション事業においては、海外のオークション事業者との業務提携・資本提携を視野に入れた緊密な連携を図り、今後もNEW ARTグループの柱となるよう、国際的なオークションハウスとして積極的に事業を展開してまいります。

②ヘルス&ビューティー事業

当第1四半期連結累計期間におけるヘルス&ビューティー事業の売上高は4億1百万円(前年同期比29.7%減)、セグメント損失は1億43百万円(前期同期はセグメント損失99百万円)となりました。

当第1四半期連結累計期間は、新しい経営者のもと抜本的な改革として不採算4店舗及び一部オフィスの退店を決定致しました。上半期を目途に退店することで固定費の削減を実施致します。また、営業体制に関しては教育体制の見直しを行い、スタッフ一人一人の技術向上に努めました。なお、前連結会計年度において減損兆候のある店舗は既に減損損失を計上しております。今後はエステ事業の抜本的改革の継続と共に、健康食品のサプリメントや化粧品の研究開発を進め、NEW ART総合研究所の経営サポートを受けながら事業の推進を図ってまいります。

③その他事業

スポーツ事業においては、「CRAZY」ブランドで展開しているゴルフクラブの販路を拓げるため、全国36拠点のゼビオ、ヴィクトリアへの卸売を推進致しました。また、4月からはジャニーズ事務所所属の内博貴さんのゴルフ新番組をサポートしており、新しい顧客の開拓を進めるため、NEWARTブランド開発研究所と共に商品開発を進めており、新商品が誕生することで新しい売上が期待されます。フィンテック事業においては、ヘルス&ビューティー事業のクレジットをすべて(100%)引き受け、確実に利益の出る体制の計画実現の為、業容拡大を目指して人員を増加し大きく成長できる事業体制の構築を進めました。

これらの事業の業績を集計した結果、売上高は67百万円（前年同期比31.3%増）、セグメント損失40百万円（前期同期はセグメント損失19百万円）となりました。

また、10年程前から構想を重ねてきた「軽井沢リゾート開発計画」の実現に向けて準備を進めております。これは軽井沢の中心街である旧軽井沢エリアの魅力を一層高めるプロジェクトであり、大きくわけて次の三つの事業が予定されております。NEW ARTグループの事業の中心はブライダルジュエリー事業ですが、グループの持続的な成長に向けた『第二の柱』となるよう、本事業も大きく育てて行きたいと考えております。

①高級分譲マンション（レジデンス）事業

建築家隈研吾氏設計による高級レジデンス（名称：Kの森レジデンス）を軽井沢のメインストリートである軽井沢本通りの新たなランドマークとなるよう現在設計・建築確認を申請しております。また、中軽井沢にも隈研吾氏設計のレジデンス計画がスタートしております。

②アートと高級ファッションブランドを融合した街づくり事業

軽井沢駅南エリアの大規模アウトレットとは一線を画し、『アートとファッションブランドの融合』をテーマに店舗を集積することで、多くの人が訪れたくなる『賑わいの場』を創出して参ります。

③ホテル・結婚式運営事業

2022年5月に友好的M&Aにて取得したホテル軽井沢エレガンスにおけるホテル・結婚式運営事業

以上のとおり中長期における事業規模の拡大および収益力の向上に向けて、国内既存事業の更なる拡大、海外展開の推進、新規M&Aの推進により利益を生み出す組織として今後も事業を推進してまいります。

（注）各セグメントの業績数値は、セグメント間の内部売上高または振替高を調整前の金額で記載しています。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産の部)

流動資産は、前連結会計年度末比11億73百万円減少（前連結会計年度末比9.0%減）し、119億31百万円となりました。これは、商品及び製品の増加3億4百万円などの一方で、現金及び預金の減少14億98百万円並びに受取手形、売掛金及び契約資産の減少79百万円などによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末比2億14百万円増加（同2.3%増）し、95億4百万円となりました。これは、建物及び構築物（純額）などの有形固定資産の増加3億49百万円などの一方で、繰延税金資産の減少1億2百万円などによるものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末比9億58百万円減少（同4.3%減）し、214億35百万円となりました。

(負債の部)

流動負債は、前連結会計年度末比3億14百万円増加（前連結会計年度末比3.5%増）し、92億9百万円となりました。これは、短期借入金の増加11億99百万円などの一方で、未払法人税等の減少5億86百万円並びに未払金及び未払費用の減少2億21百万円などによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末比1億4百万円増加（同2.6%増）し、42億6百万円となりました。これは、長期借入金の増加1億81百万円などによるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末比4億19百万円増加（同3.2%増）し、134億15百万円となりました。

(純資産の部)

純資産は、前連結会計年度末比13億78百万円減少（前連結会計年度末比14.7%減）し、80億19百万円となりました。これは、剰余金の配当15億36百万円などによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は36.6%（前連結会計年度末は41.2%）となりました。

(3) 今後の見通し

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月15日公表の業績予想から変更はありません。なお今後、業績予想について変更がある場合は速やかに公表いたします。

業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、実際の業績は業況の変化や予期せぬ事象の発生などによって、大きく異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,664,237	1,166,162
受取手形、売掛金及び契約資産	1,855,947	1,776,232
商品及び製品	6,455,520	6,760,435
仕掛品	50,253	37,170
原材料及び貯蔵品	251,780	251,807
販売用不動産	1,118,021	1,118,021
前払費用	162,491	183,118
その他	846,734	942,853
貸倒引当金	△300,456	△304,406
流動資産合計	13,104,529	11,931,394
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,036,662	2,386,277
機械装置及び運搬具（純額）	3,704	3,211
工具、器具及び備品（純額）	831,090	839,515
土地	3,315,761	3,315,761
リース資産（純額）	248,041	250,681
建設仮勘定	209,638	198,836
有形固定資産合計	6,644,898	6,994,284
無形固定資産		
のれん	284,108	272,485
その他	71,357	71,594
無形固定資産合計	355,465	344,079
投資その他の資産		
投資有価証券	290,471	284,296
長期貸付金	183,200	166,400
敷金及び保証金	1,351,639	1,357,854
繰延税金資産	427,669	324,889
その他	329,374	330,320
貸倒引当金	△292,965	△297,832
投資その他の資産合計	2,289,390	2,165,928
固定資産合計	9,289,753	9,504,292
資産合計	22,394,283	21,435,687

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	274,161	227,405
短期借入金	3,536,000	4,735,000
1年内返済予定の長期借入金	755,696	885,355
リース債務	86,188	86,798
未払金及び未払費用	985,411	763,741
未払法人税等	787,201	200,983
契約負債	1,826,230	1,842,023
その他	643,623	467,836
流動負債合計	8,894,513	9,209,144
固定負債		
長期借入金	2,248,301	2,429,352
リース債務	128,041	117,841
退職給付に係る負債	247,318	241,336
資産除去債務	660,197	615,010
その他	817,810	803,003
固定負債合計	4,101,670	4,206,543
負債合計	12,996,183	13,415,688
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,617,252	2,617,252
資本剰余金	2,474,276	2,474,276
利益剰余金	5,795,246	4,518,483
自己株式	△1,403,305	△1,404,301
株主資本合計	9,483,469	8,205,710
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△53,425	△57,710
為替換算調整勘定	△197,204	△299,527
その他の包括利益累計額合計	△250,630	△357,237
非支配株主持分	165,260	171,525
純資産合計	9,398,099	8,019,998
負債純資産合計	22,394,283	21,435,687

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	5,382,327	4,827,982
売上原価	2,295,159	1,656,323
売上総利益	3,087,168	3,171,659
販売費及び一般管理費	2,480,889	2,681,352
営業利益	606,278	490,307
営業外収益		
受取利息	2,543	2,367
為替差益	193,300	97,880
その他	7,070	3,280
営業外収益合計	202,914	103,528
営業外費用		
支払利息	14,630	25,167
貸倒引当金繰入額	1,940	—
その他	28	220
営業外費用合計	16,598	25,388
経常利益	792,593	568,447
特別損失		
減損損失	—	5,846
特別損失合計	—	5,846
税金等調整前四半期純利益	792,593	562,600
法人税、住民税及び事業税	251,470	192,605
法人税等調整額	44,861	102,694
法人税等合計	296,332	295,300
四半期純利益	496,261	267,299
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△713	6,264
親会社株主に帰属する四半期純利益	496,975	261,035

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	496,261	267,299
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,951	△4,284
為替換算調整勘定	△125,269	△102,322
その他の包括利益合計	△128,220	△106,607
四半期包括利益	368,041	160,692
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	368,754	154,428
非支配株主に係る四半期包括利益	△713	6,264

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ジュエリー・アート・オークション事業	ヘルス&ビューティー事業	その他事業	合計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	4,759,573	560,915	42,225	5,362,714	—	5,362,714
その他の収益(注) 3	9,380	1,030	9,202	19,613	—	19,613
外部顧客への売上高	4,768,954	561,946	51,427	5,382,327	—	5,382,327
セグメント間の内部売上高又は振替高	291	8,482	—	8,773	△8,773	—
計	4,769,246	570,428	51,427	5,391,101	△8,773	5,382,327
セグメント利益又は損失(△)	812,662	△99,443	△19,057	694,161	△87,883	606,278

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、全社費用△87,883千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他の収益には、企業会計基準第10号「金融商品に関する会計基準」の範囲に含まれる金融商品に係る取引及び企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれるリース取引等が含まれておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

その他事業において、当第1四半期連結会計期間より有限会社軽井沢エレガンスカンパニーの株式を取得し、同社を連結子会社にいたしました。当該事象によるのれんの増加額は、157,683千円であります。

当第1四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報
(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ジュエリー・アート・オークション事業	ヘルス&ビューティー事業	その他事業	合計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	4,370,579	380,077	57,924	4,808,581	—	4,808,581
その他の収益 (注) 3	8,610	1,184	9,607	19,401	—	19,401
外部顧客への売上高	4,379,189	381,261	67,531	4,827,982	—	4,827,982
セグメント間の内部売上高又は振替高	228	19,799	—	20,028	△20,028	—
計	4,379,418	401,061	67,531	4,848,011	△20,028	4,827,982
セグメント利益又は損失 (△)	843,034	△143,140	△40,167	659,725	△169,418	490,307

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、全社費用△169,418千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他の収益には、企業会計基準第10号「金融商品に関する会計基準」の範囲に含まれる金融商品に係る取引及び企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれるリース取引等が含まれておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)

「ヘルス&ビューティー事業」において、退去を決定した共用資産に係る減損損失を計上しております。当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては、5,846千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。